

夢追塾同窓会3期

みよし会 2月例会報告

日明浄化センター見学



「みよし会」の平成30年度2月例会は2月28日（木）、北九州市小倉北区西港町にある北九州市上下水道局の日明浄化センター（下水処理場）を見学しました。また午後は同センター内で3期会、みよし会の年次総会も開催しました。

＜参加者＞ 12名（順不同・敬称略）

赤木博、池田慶子、江崎芳子、樺沢敬視、小松良子、坂本博子、貞光文江、高城泰男、田中眞弓、永吉和幸、畑美根子、宮尾節子

■当日は午前9時45分に同センターのビジターセンターに集合。まず同センターのプレゼンルームで北九州市の下水道事業を解説するDVD映画を見たあと、2人の女性スタッフの案内で館内に設営された展示コーナーを視察しました。大雨の強さを手のひらで感じられるコーナーや下水道の管内を走行する検査ロボットの操作を体験したほか、北九州市の地形をジオラマ化したプロジェクションマップでの説明などを見学しました。①北九州市の下水道事業は昨年で100周年を迎えた②下水道普及率は99.8%③市内には5カ所の下水処理場がある④浄化センターで発生した汚泥は火力発電所やセメント工場の熱源燃料になっている……などを学びました。

■そのあとは屋外に出て、広大に広がる各種沈殿プールなどを順次視察して、家庭から集まって来た下水が様々な処理槽を経て次第に澄んだ水になり、最後は海に排出される行程を実際に見て回りました。私たちが何気なく捨てている水が、様々な先端技術と巨大な施設、大変な手間をかけて浄化されることで環境が保全されていることを知りました。

■見学の後は、お隣の中央卸売市場内の仕出し屋さんで購入した弁当を食べたあと、3期会とみよし会の年次総会を開催。みよし会の会長、班長、年次計画などを決定承認しました。



市内のマンホールの変遷



大雨時の貯留施設の仕組み



市内を網羅する下水管のネット



熱心に見学するみよし会員



広大な沈殿池を見て回る



マンホールのいろいろ